



2016-2017年度
東日本区 理事通信
第20巻01号
2016年7月1日発行



「明日のために、今日、動こう」

理事 利根川 恵子

いよいよ2016-2017年度が始まりました。今月は各クラブでキックオフ例会が開かれることと思いますので、今年度の理事活動方針に込めた私の思いを改めて書かせていただきます。どうかクラブのメンバー一人ひとりが自分の課題として受け止め、日ごろのワイズダムの活動の中で、手を取り合って、行動を起こしてくださることを切に願います。

現在の東日本区は、会員数の減少、高齢化、財政の逼迫等、厳しい問題に直面しています。特に会員数の減少は、われわれの存在をも危ぶむ状態となっています。

そこで、「明日に向かって、今日動こう」という活動方針にたどり着いたのです。「明日」とは文字通りの「明日」でもありますが、「将来」を見据えて、「今日」つまり「今」できること、し

なければならないことを、とにかく「動いて」実行しよう、という決意の表明です。動かなければ何も起こりません。

折しも、今期は東日本区設立20周年という節目の年であり、2017年2月に予定されている東西ワイズ交流会をはじめ、いくつかの記念事業も計画されています。これまでの諸先輩ワイズメンの歩みを見つめ直したり、東西のワイズが一堂に集まって交流したりすることが、各メンバーの「明日に向かって、今日動こう」という活力のもとになることと信じます。

メンバーの一人ひとりが、東日本区の「明日」を思い、熱い心と義務感をもって、まずはクラブレベルで何ができるか、何をしなければならないかを、年度の初めにあたり十分にお考えいただき、積極的に「今日」から行動してくださることを期待いたします。

事業主任の決意

地域奉仕事業主任

加藤 博(熱海グローリー)

日頃のご励功、有難うございます。今年度、CS主任を承りました加藤です。利根川新理事の方針に則って今期のCS主題を、「IBC発CS、EMCへ～IBC活動の促進で国際化を絡めた活

動の構築を推進しEMCを達成しうるCS」と致しました。主な方針は理事方針に基づいて、1 クラブ拡張と会員増強のためのCS活動、2 部の強化・活性化のためのCS活動の推進、3 Y M C Aとの協働の強化のためのCS活動、4 スリムな区の運営のためのCS活動、です。国際・交流とも連携しましてオールインワンで臨みたいと思います。重点事業と致しましては、既存のクラブ対抗、CS活動フォトコンテスト(継続)の

実行と結果の告知力アップ、使用済み切手 新たにプルトップ収集等も地域とのコミュニケーション継続として有意義考えています。また各クラブの既存CS活動の見直し、規模の拡大・ミーティングの奨励と参加の推進を促したいと思います。

とどのつまりは、CS活動を通して未来の会員に対しても魅力を発信し賛同加入願望を喚起することを実現したいと思います。各クラブの本領を發揮している姿を、しっかりと告知できる環境整備を部を通してバックアップします。スマホ対応した共通入力フォームを確立することで、簡素化それでは、ちょっとだけの若さで頑張りますので1年間よろしくお願い申し上げます。

“ワイズの底力を今こそ”

会員増強事業主任 菊地弘生（仙台青葉城）

この度、利根川理事の下で、会員増強の役割を拝命することとった、菊地弘生と申します。直前の池田直文ワイズの意志を引き継ぎつつ理事の方針をしっかりと受け止め、目標達成に向けてこの一年間頑張っ参ります。ワイズでは、まだまだ若輩者ではありますが、皆様のご意見、ご助言に耳を傾けつつ、ワイズの底力をEMC事業でも充分發揮できるように

繋げ方を模索して行けたらという思いです。何卒宜しくお願い申し上げます。

今年度の目標として

- ① E（クラブ拡張）：2クラブ以上
- ② M（会員増強）：1クラブで、純増2名以上、区全体で1,000名超
- ③ C（維持啓発）：退会者ゼロ

効率化を達成する。集計業務よりも発信業務にウェイトをおく。これに必ず会員入会フォームと特典を添える。YMCAとの共通点、相違点をそれぞれ明らかにし、自然寄付等を促すソフトな、しかし徹底的にレスポンスする雰囲気作りに努める。シンプル・スリム・スピード、簡単で・解り易く・速い 伝達法を目指します。

表彰基準は新規性、広域性、国際性、動員数達成、献金額達成などであるが、特に女性会員獲得、女性クラブを設立できるような観点、女性目線の事業を興してみたいかがでしょうか。

目標を達成するための行動計画

- ① 部がそれぞれのクラブに対し、助言・提案等を出来るような補完機能を強化させ、クラブ活性化に資するような対策を講じます。
- ② クラブと部の連携強化に資するコミュニケーションツールを構築します。

EMC事業をクラブと部の協働事業と位置づけて、これにより、まず部の活性化に繋げていきたいと思ひます。

《半年報》

クラブから部長への前期半年報は、7月10日までに、部長は7月15日までに、当職までご提出をお願いいたします。

国際・交流事業主任 太田勝人（東京世田谷）

主題：「未来を見つめて 今行動し、飛躍、そして楽しもう！」

＜施策とお願い事項＞

1. 献金目標とスケジュール（一人当たり）
BF—2,000円以上 RBM—800円以上
TOF—1,300円以上 YES—500円以上
* クラブから部へ — 2月15日までに
* 部から区へ —— 2月29日までに
2. RBM：7月が強調月間のテーマの一つです。我々ワイズの取り組みは、国連のプロジェクトに繋がっています！2018年まで継続となりました。皆さんからの「献金で」累計何千万人という多くの方々が無事に罹らずに助かっています！ご協力のほど宜しくお願いいたします。

3. IBC/DBC
今年はお案内の如く、8/4-7まで台湾、台北にて国際大会が開催されます。IBCの絶好の交流場となり、ご希望クラブ様の仲介役を致しますのでお申し付け下さい。私も参加いたします。
4. 使用済み切手—「無から有を生む」考えです。全て7つの部の事業主査の皆さんに長野大会にて流れと注意事項などまとめた資料をお渡ししました。東京グリーンクラブでは、例会の日に早めに会場に来て、皆で作業をして一部の人にだけ負荷がかからないように工夫して取り組んでいます。
ご参考になさって下さい。

ユース事業主任 大久保知宏（宇都宮）

本年度のユース事業の主題を「ユース事業を通じて理事方針の実現を目指す」といたしました。理事方針の「部の強化・活性化」「YMCAとの協働の強化」の二つの方針の実現をユース事業を通じて目指していきます。「部の強化・活性化」ではそれぞれの部主催の持続性のあるユース事業を新たに考えていただく機会を作ります。具体的には、部主催のユース育成事業に対して、5万円を上限として、支援を実施します。計画書を10月末までにご提出いただき、3月末までに実施いただきます。4月末までにご報告いただいた時点で

支援金を給付いたします。評議会、部会を通じて新たな部事業の検討をお願いします。「YMCAとの協働の強化」の実現のために、区主催の既存のユース育成事業であるユース・ボランティア・リーダーズ・フォーラム、オープン・フォーラム・Y、アジアエリア・ユース・コンボケーションへの派遣の三事業の実施にあたり、YMCAの特にユース世代の意見を取り入れるために東京および横浜YMCAのユースレプスの二人を委員会メンバーに招き、一緒に事業企画をしていきたいと考えています。YMCAとの一体感を持った活動を目指します。皆様のご理解。ご支援をお願いいたします。

絵本発送

2015-2016年度メネット委員長 利根川 恵子

メネット委員会の国内プロジェクトである「絵本を贈る運動」が今年もみなさまの多大なる献金のおかげで、無事に終了いたしました。今年は、

7 YMCA 36 施設に 171 冊の絵本を贈呈することができました。

発送作業は、去る 6 月 8 日（水）、日本 YMCA 同盟会議室で行われ、メネット委員会委員は、絵本をうれしそうに読む子どもたちの様子を思い浮かべながら、施設毎の仕分け、伝票記入、梱包等を行いました。

早速、園児からのかわいらしいお礼状が届いたり、クラブ・ブリテンの YMCA 報告で感謝されたりと、「絵本を贈る運動」が今年も YMCA に連なる子どもたちの健全な成長の一助をなっていることを実感しています。



ご協力をいただいた、メネット、メン、関係者のみなさま、ありがとうございました。

5th OPEN FORUM “Y”



「忘れません：震災被災者・難民・子どもの貧困」をテーマに、6 月 18 日（土）、午前 9：30 から午後 6：30 まで、オリンピック記念青少年センターで開催されました。ユース 12 名の参加があったことが、ユース事業主任浅羽俊一郎メンから報告がありました。外部講師は、次の 4 名でした。

- * 特定非営利活動法人ジェン代表理事 木山啓子氏
- * 児童養護施設さんあい園長 高瀬一使徒氏
- * 認定 NPO 法人 AAR Japan[難民を助ける会] 福井美穂氏
- * Wake Up Japan 共同代表 鈴木洋一氏

詳細は、浅羽事業主任に問い合わせ下さい。熱心に議論するユースと 23 名の集合写真を掲載します。

第20回東日本区大会

第19回東日本区大会は、長野クラブと多数の協力クラブのお働きで、長野の歴史や文化を存分に生かした、大変心に残る大会となりました。

来年は理事のホームクラブのある川越を会場に、「温故知人」のテーマのもと、第20回東日本区大会を開催いたします。東日本区設立20周年を記念して、これまでの20年を振り返るとともに、参加者が新しい出会いから明日へのエネルギーを得られるように内容を工夫していく予定です。

「江戸のおもかげを残す川越」へ、多くの方々を訪れて、区大会にご参加くださるようお待ちしております。

第20回東日本区大会実行委員長 松川 厚子



東西日本区交流会開催のお知らせ

今年度は、日本区が東西に分かれて20周年を迎えることから、東日本区と西日本区の交流会が開催されることになりました。過日の長野大会で第一

回の準備会が、大阪での西日本区大会の際に第二回の準備会が開催されました。日程と場所が次のように決定しましたので、お知らせします。今から、予定に入れておいて下さい。

日時：2017年2月4日(土)～5日(日)

場所：日本YMCA同盟 東山荘 (本館が新しくなります。)



YMCA より

連絡主事 光永尚生

東日本区大会、西日本区大会では多くの皆様から、東日本大震災支援、熊本地震支援活動、東山荘建設募金を賜り感謝申し上げます。7月25日～29日にはYMCA 東山荘で、全国の20名のスタッフが専門職管理者研修会に参加されます。多様化する現代社会に対応できる人材育成のため、3年目の取り組みとなります。保育現場や社会福祉の現場で働くYMCA職員が対象です。また、新しい利根川理事期になり、各地の例会などで引き続き熊本地震支援活動に対し西日本区との協力、熊本YMCAとの協働などの報告の機会もいただき感謝申し上げます。引き続き全国のYMCAから、多くのボランティアやスタッフの支援活動が継続されます。朗報ですが、これらの支援への感謝を表す意味でも台湾での国際大会へ日本YMCA同盟の島田総主事の参加が実現しそうです。